

# 共通小委員会報告

## 論文集編集小委員会

### 2016年度 論文集編集小委員会：委員名簿

委員長：宮島昌克 金沢大学

幹事長：古川愛子 京都大学

委員：(17名)

秋山伸一 伊藤忠リアルエステート(株)

五十嵐晃 京都大学防災研究所

奥村与志弘 関西大学

小野祐輔 鳥取大学

梶田幸秀 九州大学

北原武嗣 関東学院大学

清野純史 京都大学

酒井久和 法政大学

佐藤 清 (株)大林組

鈴木崇伸 東洋大学

飛田哲男 関西大学

中村 晋 日本大学

野津 厚 港湾空港技術研究所

原田賢治 静岡大学

目黒公郎 東京大学生産技術研究所

吉田雅穂 福井工業高等専門学校

吉見雅行 産業技術総合研究所

地震動，構造物，地盤，防災，津波，災害調査，地下構造物・ダム等を専門とするメンバーで構成している。

# 論文集編集小委員会の活動内容

## ①地震工学研究発表会の開催

- 講演論文投稿期限：9月頃
- 研究発表会の開催：10月頃
- 優秀講演賞の候補者の推薦：地震工学委員が投票

## ②土木学会論文集A1特集号（地震工学論文集）の編集

- 研究発表会の講演論文を対象
- 論文投稿期限：11月頃
- 査読結果通知：12月末頃
- 登載決定通知：3月頃
- 論文集の発行：8月頃
- 論文賞・論文奨励賞の候補者の推薦

## 2016年度活動報告

### 1) 委員会

- 第1回委員会：2016年10月18日 @金沢歌劇座 第1会議室 14名参加  
論文集査読スケジュールの確認
- 第2回委員会：2017年2月18日 @土木学会 A会議室 18名参加  
投稿論文の掲載可否の判定会議
- その他，適宜メール審議

### 2) 行事

- 第36回地震工学研究発表会：2016年10月17日，18日  
@金沢歌劇座，参加者234名（発表158件）
- 第36回地震工学研究発表会見学会：2016年10月19日  
@能登半島地震被災地見学，参加者24名

### 3) 出版物等

- 土木学会地震工学研究発表会講演論文集(CD-ROM) 2016年10月発刊
- 土木学会論文集A1特集号（地震工学論文集Vol.36）掲載数97編  
2017年8月頃発刊予定

## 過去6年間の参加者・論文数等の推移

年度	研究発表会			論文集	
	開催場所	講演者	聴講者	合計	論文掲載数
2011	東大生産技術研究所	172名	81名	253名	129編
2012	東大生産技術研究所	143名	75名	218名	96編
2013	東大生産技術研究所	146名	53名	199名	92編
2014	まちなかキャンパス長岡	136名	48名	184名	96編
2015	東大生産技術研究所	128名	60名	198名	90編
2016	金沢歌劇座	158名	76名	234名	97編
2017	くまもと県民交流館パレア	?名	?名	?名	?編

### 傾向分析

- ・講演者数は、隔年開催が毎年の開催に変わった2012年に激減したが、2012年以降は年々緩やかに減少傾向であった。
- ・2016年は、熊本地震特別セッションへの投稿数が多く、参加者が大幅に増えた。地盤工学会、日本地震工学会に後援依頼をし、メールニュースに流して頂いたことも、参加者獲得に効果があったと思われる。
- ・論文掲載数は2012年以降ほぼ一定で、講演者数に連動していないように見受けられる。

**2017年度、発表会でご講演頂きますよう、よろしくお願い申し上げます！**